

受 賞 者

福井県科学学術大賞

- (1) 受賞者名 内木 宏延（ないき ひろのぶ）[福井大学学術研究院 医学系部門医学領域
病因病態医学講座 分子病理学 教授]
- (2) 業績名 アミロイドーシスに関する研究
- (3) 業績概要 チオフラビン T という分子がアミロイドに結合すると蛍光を発する性質を発見し、アミロイドが蓄積する過程を精密に分析する方法を開発した。これによりアミロイドーシスが発症する仕組みが明らかになり、新規治療薬やアルツハイマー病画像診断薬の開発が加速した。一方、厚労省難病班を率い、アミロイドーシスの診断コンサルテーション体制を確立し、アミロイドーシスの診断基準を改定するなど、世界でも類を見ない難病臨床の基盤を構築した。
- (4) 表彰内容 表彰状、賞金 100 万円、記念品を贈呈

福井県科学学術大賞特別賞

- (1) 受賞者名 石川 義一（いしかわ よしかず） [株式会社ギケン 代表取締役社長]
- (2) 業績名 CF RTP・GF RTP・UD 材料ハイブリッドドリル「ゼロバリ fiber」の開発
- (3) 業績概要 熱可塑性樹脂のように熱に弱く柔らかい材料に特化したドリル「ゼロバリ fiber」を開発した。このドリルは、発熱を通常のドリルの 1/4 程度に抑え、やわらかい樹脂に対しても溶融によるバリが発生せず穴を開けることができる。一般的なドリルと比較すると、耐久性が 30 倍であり、作業コストを 1/5 以下に抑えることを可能にした。
- (4) 表彰内容 表彰状、賞金 50 万円、記念品を贈呈

福井県科学学術大賞若手科学学術賞

- (1) 受賞者名 坂元 博昭（さかもと ひろあき）[福井大学学術研究院 工学系部門
繊維先端工学講座 准教授]
- (2) 業績名 画像解析による遺伝子検査技術の開発
- (3) 業績概要 ナノ粒子を利用した遺伝子回収技術と溶液中のナノ粒子運動を画像解析から検知する技術を融合することにより、超高感度遺伝子検出技術を開発した。現在用いられている遺伝子検査では、遺伝子の増幅を行っているため、時間とコストが課題であった。一方で、本技術では、ナノ粒子の動きを直接識別して検出するため、遺伝子を増幅させる必要がなく、短時間かつ正確に検査が可能である。
- (4) 表彰内容 表彰状、賞金 30 万円、記念品を贈呈

(参考)

【 表彰式 】

- 1 日 時 令和 5 年 2 月 7 日（火） 14 時 30 分から
2 場 所 福井県県民ホール（AOSSA 8 階）
（「ふるさとの日」記念表彰式にて表彰します。）

※表彰式終了後、15時30分から福井県県民ホール（AOSSA 8 階）楽屋 3、4 において受賞者の記者会見を予定しています。

福井県科学学術大賞の概要

事業概要

福井県内において科学技術の開発または学術研究に携わり、本県の発展に大きく貢献したと認められる方を顕彰することを目的とした表彰制度です。

この賞は、県内の篤志家からの寄附金を原資として授与されるもので、“本県版のミニ・ノーベル賞”として位置付けられ、「物理」、「化学」、「生物」、「医学・生理学」、「経済」の5分野での業績が対象となります。

表彰の対象

福井県内において、物理、化学、生物、医学・生理学、経済の分野で特に顕著な功績を挙げ、産業の振興、地域の活性化その他住民の福祉の向上に貢献したと認められる個人またはグループ（若手科学学術賞は概ね45歳未満の個人または主たる研究者が概ね45歳未満のグループ）の業績が対象となります。

表彰の内容

福井県科学学術大賞	表彰状、賞金100万円、記念品を贈呈
福井県科学学術大賞特別賞	表彰状、賞金50万円、記念品を贈呈
福井県科学学術大賞若手科学学術賞	表彰状、賞金30万円、記念品を贈呈

募集の方法

一般公募とし、応募方法は所属する団体等からの推薦または本人からの応募とします。

受賞者の選考

応募のあった方を対象に、福井県科学学術大賞選考委員会で受賞候補者を選考し、知事が受賞者を決定します。

福井県科学学術大賞選考委員

専門分野	委員名	所属役職等
物理	委員 京藤 倫久	株式会社明電舎 技術顧問
化学	委員 奥山 喜久夫	広島大学 名誉教授
生物	委員 斎藤 成也	国立遺伝学研究所 名誉教授
医学・生理学	委員 木村 吉延	福井大学 名誉教授
経済	委員 武藤 昌三	シンフォニアテクノロジー株式会社 代表取締役会長